



第
壹四七五七
冊
九 20
46

明星抄系圖

閑院左大臣 ^{六男} 勸修寺元祖

○良門 贈左大臣正一位

抄以名人正一位上

從四位上右中將

利基 贈正一位

藤原系圖九中將

高藤 小一條次大臣

抄寛年贈正一位 延喜御外祖

勸修寺家祖

兼輔 中納言從三位

堤中納言正五位下

豊後守從五位下刑部大輔

惟正 河海因幡守

為頼

河明 越後守正五位下

為時 初花 越前守

惟規

女子 上東門院女房紫式部此物語作者

母明撰津守為信女 異本常陸守

抄右馬頭為信女 堅子

御堂園白守之右衛門佐宣孝室

河海云紫式部ハ鷹司殿 御堂園白北方一條次大臣の官女

惟信公女從五位倫子

より相繼て上東門院に陪侍を後又太皇太后

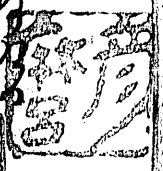
宣孝に嫁して大貳三位并局 作者を全む

式部の旧跡ハ正親町以南京極の西類今の

東北院の向く此院ハ上東門院の御所の跡より



事跡ハ相武平城堂左嶋仁明ノ頃ノ御名ハ未詳ナリ其ノ時ハ...



昭和 5. 12. 10

下らばあはれなるをわすれぬは... 人の心とわかれ...

あつとあつと
 昔昔にわたる道徳
 こころもなまらぬ
 長恨亭
 京師長吏為是側目

めくはれまてななりんぱらめりく人なまも
起格
 あひるはめをさばめりくはめりく人のせい
起格
 なりぬらりこころもなまらぬ

わかれわかれをわかれわかれをしりり
味氣
 ひかりさかぬ人のせいをわかれわかれをわかれ
揚

妃のたぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬら
和會
 たりたりたりたりたりたりたりたりたりたり

たたりたりたりたりたりたりたりたりたりたり
由緒
 ひろくなるとはげすみのたたりたりたりたり

ふりたりたりたりたりたりたりたりたりたり
三奴
 やりたりたりたりたりたりたりたりたりたり

白居易
 掌珠一顆兒三歳

よもよもよもよもよもよもよもよもよもよも
助
 りたりたりたりたりたりたりたりたりたりたり
五
 きりたりたりたりたりたりたりたりたりたり

のせいせいせいせいせいせいせいせいせいせい
朱
 りたりたりたりたりたりたりたりたりたりたり

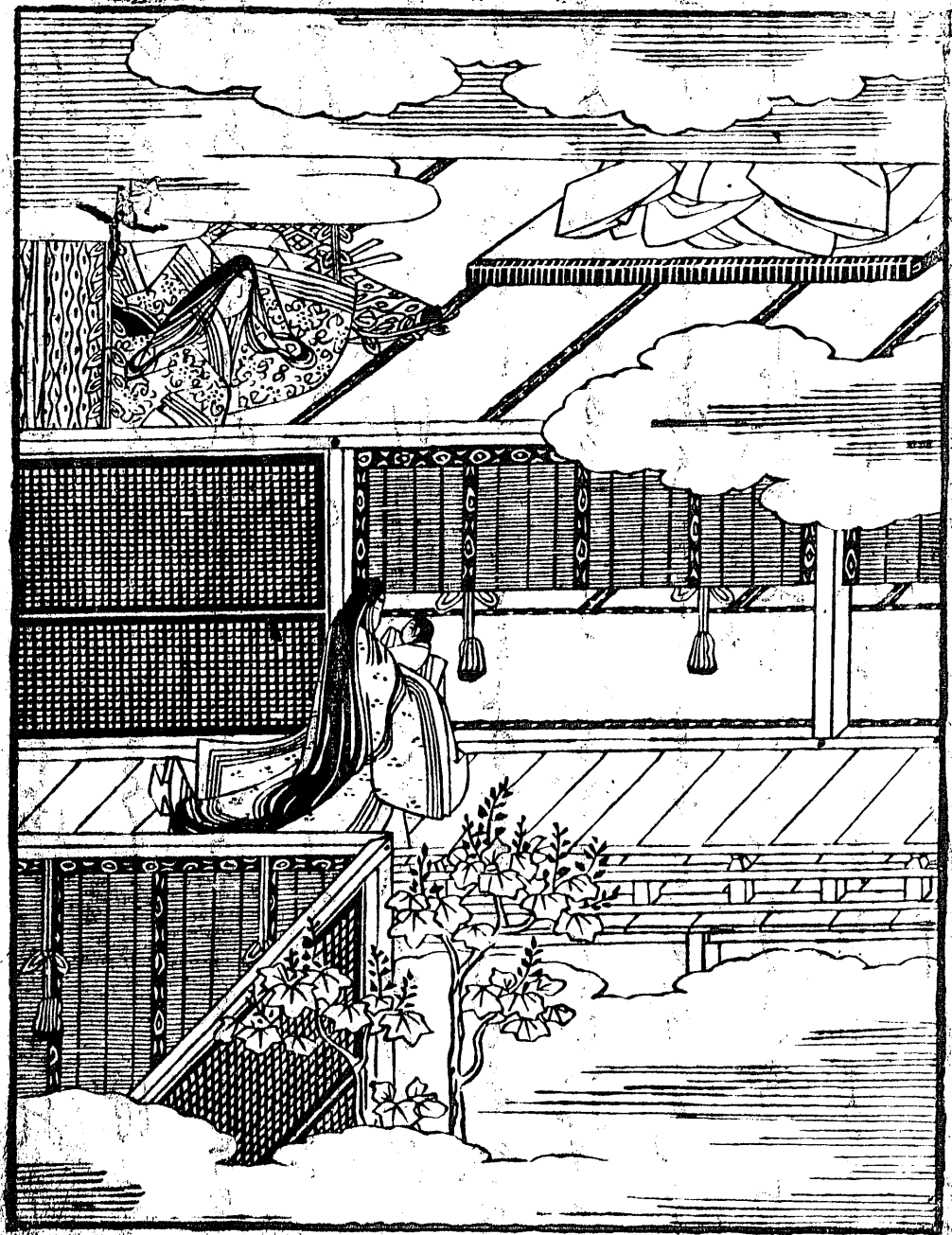
せいせいせいせいせいせいせいせいせいせい
朱
 りたりたりたりたりたりたりたりたりたりたり

らりたりたりたりたりたりたりたりたりたり
朱
 りたりたりたりたりたりたりたりたりたりたり

和唐人詩集
 アエヨ初テリウウクシマ
 メウラヒキ魚ト云ハ
 カラノウカト云フ今ハ
 ミツラノラト云
 ニムメモミカノカ

大任を
 自署
 外
 御
 格
 別
 三
 任
 小
 大
 任
 自
 署
 外
 御
 格
 別
 三
 任
 小
 大
 任
 自
 署
 外
 御
 格
 別
 三
 任
 小

けりく 被橋ヲ用アル所カクシク けり 舊カシモノナトシ けり 不淨ナトナラス
 けり 清涼殿 けり 三ツツ けり 御座近キ体自許シ
 の 井ハウサレ先更衣ノ けり 御座近キ体自許シ
 の 御座近キ体自許シ けり 御座近キ体自許シ
 の 御座近キ体自許シ けり 御座近キ体自許シ
 の 御座近キ体自許シ けり 御座近キ体自許シ
 の 御座近キ体自許シ けり 御座近キ体自許シ



係氏 未在院 内藏寮 金銀珠寶書錦綾御
の御
別物ノ合
テリ

後殿后より花巻の道筋を御覧す
かまひの御覧す

それよりして
係氏 係氏

こゝろの御覧す

のなりわいの御覧す
相違なき御覧す

わづらひの御覧す

おくれの御覧す

おくれの御覧す

おくれの御覧す

おくれの御覧す

おくれの御覧す

おくれの御覧す



續後紀美和六年六月
庚戌朔己卯女御從留佐
下藤原朝臣澤子卒故
紀伊守從五位下總繼之
也天皇納之誕三皇子
一皇女也寵愛之隆獨
冠後宮俄病而困篤
載之小車出自禁中
總到里第便絕矣夫
天皇聞之哀悼遣中
使贈從三位也
コレヲトリテ作レリ
式ニ凡乗輦車出入
内裏者妃限曹子夫人及内親王限温明敬後凉敬後

一六
 皇女也寵愛之隆獨
 冠後宮俄病而困篤
 載之小車出自禁中
 總到里第便絕矣夫
 天皇聞之哀悼遣中
 使贈從三位也
 コレヲトリテ作レリ
 式ニ凡乗輦車出入
 内裏者妃限曹子夫人及内親王限温明敬後凉敬後

皇女也寵愛之隆獨
 冠後宮俄病而困篤
 載之小車出自禁中
 總到里第便絕矣夫
 天皇聞之哀悼遣中
 使贈從三位也
 コレヲトリテ作レリ
 式ニ凡乗輦車出入
 内裏者妃限曹子夫人及内親王限温明敬後凉敬後

てぞれ せん 宣命よじらんるるくさとなりたる あはれ 世に

だま い り 運家の四位 八郎 御三 位 贈 御三 位 御三 位 御三 位

さ い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

せ い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

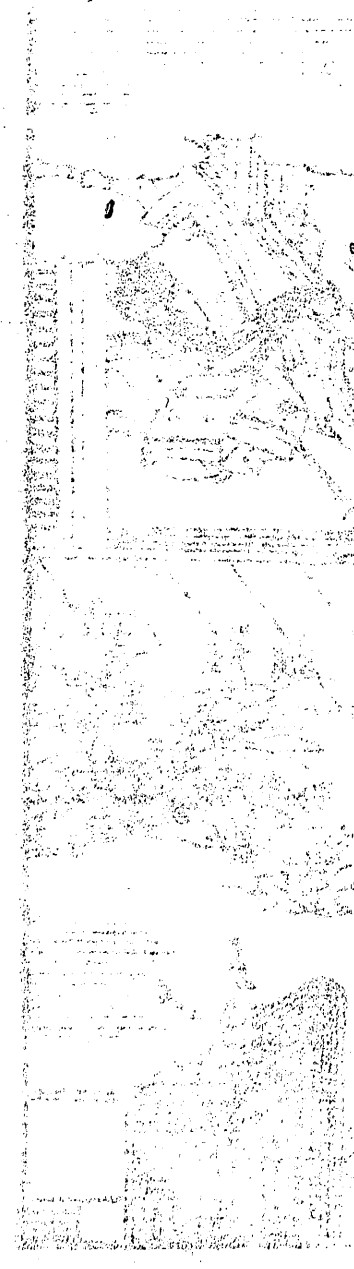
ら い り 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位 御三 位

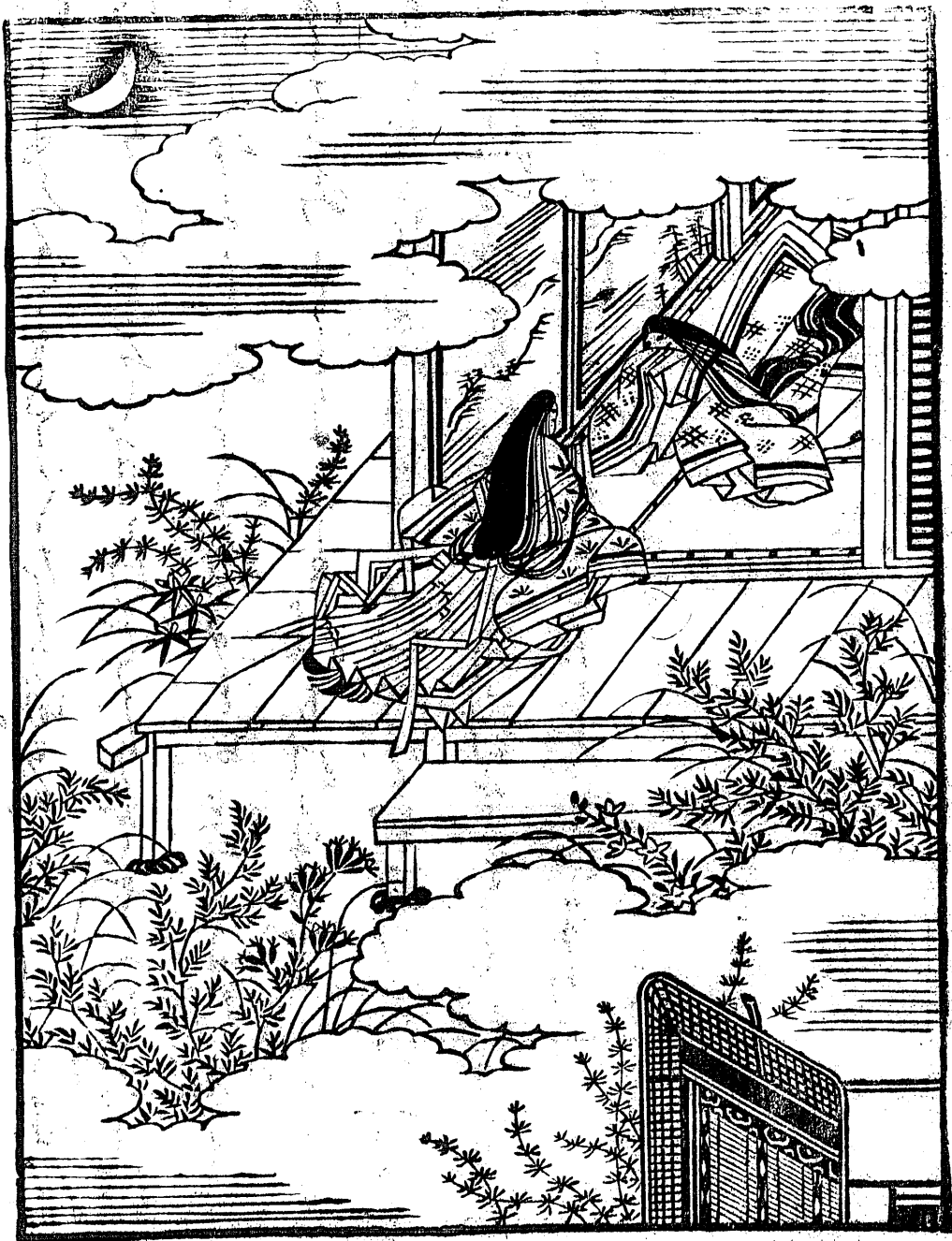
彦登云
三ノ月廿二日
アラス特寒シテ八月ヨロシハ
大方ハ暑クテ涼キカコトヨキ
コレハイカサテハカト云云
イヌラヤルヤ

ひら ちの ちの ちの ちの ちの ちの

あきらかに...
夕...
あつて...
はあ...
な...
は...
あ...
ひ...
て...
車

あきらかに...
夕...
あつて...
はあ...
な...
は...
あ...
ひ...
て...
車

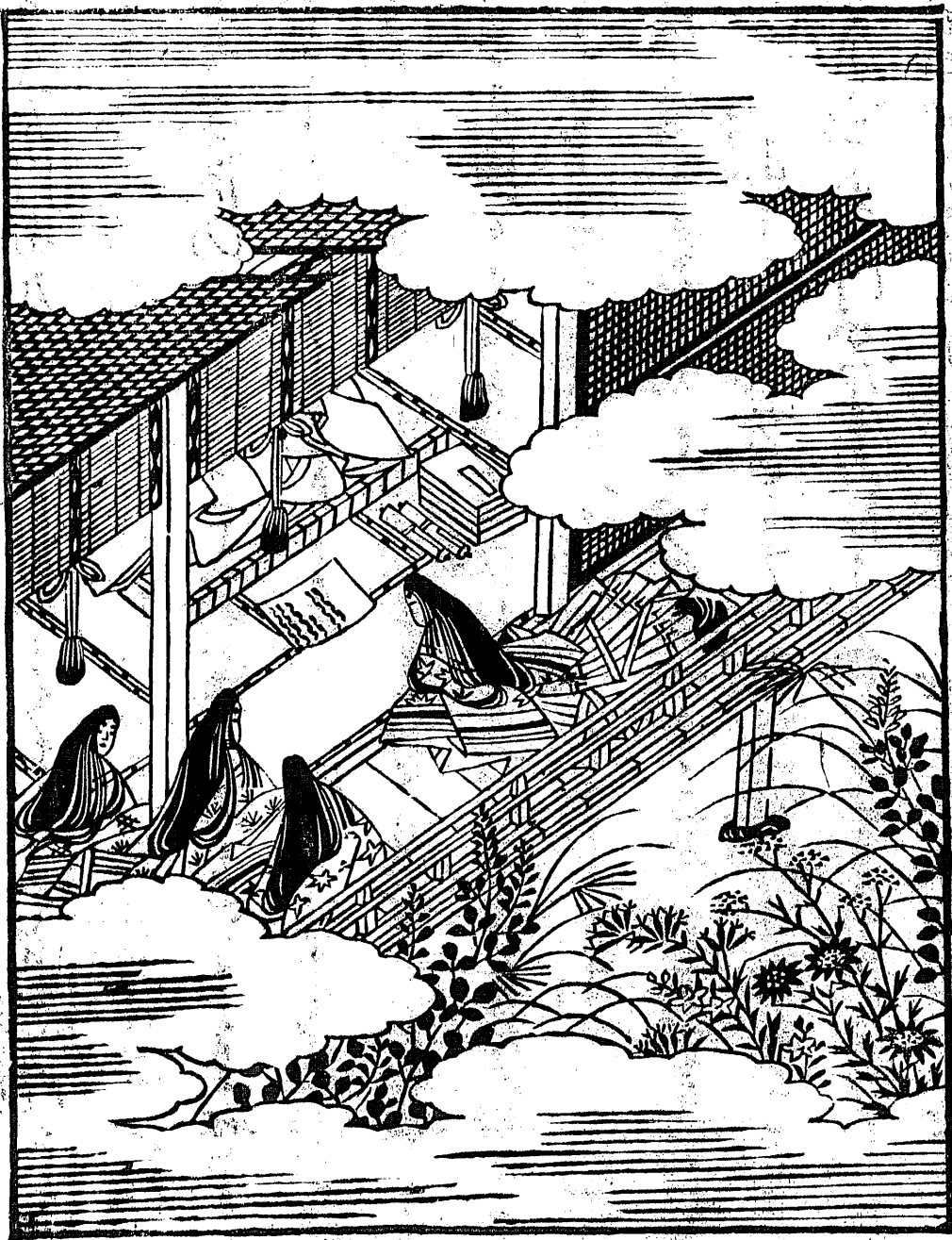




イ十

命婦同

まよひてはるもなきをいふはなほさへ
 まげんと肉侍こつのまけのきりーだまきりー
 おれ思ひのふとあそびはもよほしき
 ちのびさうはくれしやまたあつておれ
 せうしきさかぬ和言しまなみのさき
 れいしりくおひきしはたかたし
 んんちきくはなはなはなはなはなはな
 とおもひあはれはなはなはなはなはな
 けりありありはなはなはなはなはなはな
 けりありありはなはなはなはなはなはな
 けりありありはなはなはなはなはなはな



春の風はさかづき
 花の匂はあふれ
 夕陽の影は長
 月夜の光は静
 朝露の滴は清
 夕風の音は涼
 月影の移りゆく
 雲の行き来は
 空の広さを
 水の流れは
 石のつらさを
 木の葉の落ちる
 鳥の鳴く声は
 風の吹く音は
 雨の降る音は
 雪の積る音は
 雷の轟く音は
 嵐の吹く音は
 霧の降る音は
 霜の降る音は
 氷の積る音は
 春の訪れる音は

らうたーまらりーん
らうーもあまー切ある
ゆるーく

かたのまらりーん 合書 申すは松をまき
たつてのふせ
くのまらりーん 合書 關東道土幻術ニ其蓬萊山所昔妃ニ逢テ金釵
合ラ得テ
カリシ
かたのまらりーん 合書 湯名云更衣ヨリ便ナクハ朝日湯ナリ
金釵
合ラ得テ
カリシ
鍬合ハサ

合書

かたのまらりーん 合書 揚き妃のこころ
かたのまらりーん 合書 美濃三行敷

かたのまらりーん 合書 横地美濃御モヨリシラ 更衣ハメトフハモトシトシ
在美願作比翼鳥在地願為連理枝
かたのまらりーん 合書 ねよよ

天曆御集しききのまらりーん 合書 一十六 階老同地の敷も地の敷み
かたのまらりーん 合書

かたのまらりーん 合書 立 角
かたのまらりーん 合書 更衣ノ死ヲ天皇ノ愁ヲモク
かたのまらりーん 合書 松の月いす
かたのまらりーん 合書 雲の

外戚モナクニ

兄弟ノ順マズ

くあひもどけうーろくすん人あはくさる世の

母ノ立場のよそ

くひひくまきまうなれは申しはわらくさるは

後紀 延暦五年 生於

長岡宮 唯天皇 初聰

好書及長持修 經史

善屬又妙草 諫神 象岳

立有 人君之量 天皇 七

鍾愛也

りて父おもひさせもさるがなりあつたはずり

順父の腹モアレハト云ハル也

くひひくまきまうなれは申しはわらくさるは

弘徽祿

くえあゆもぬこちちちらあめぬれはあはくさる

又衣母

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

天皇ノ心

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

母の心

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

イナリ

かんあまののひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

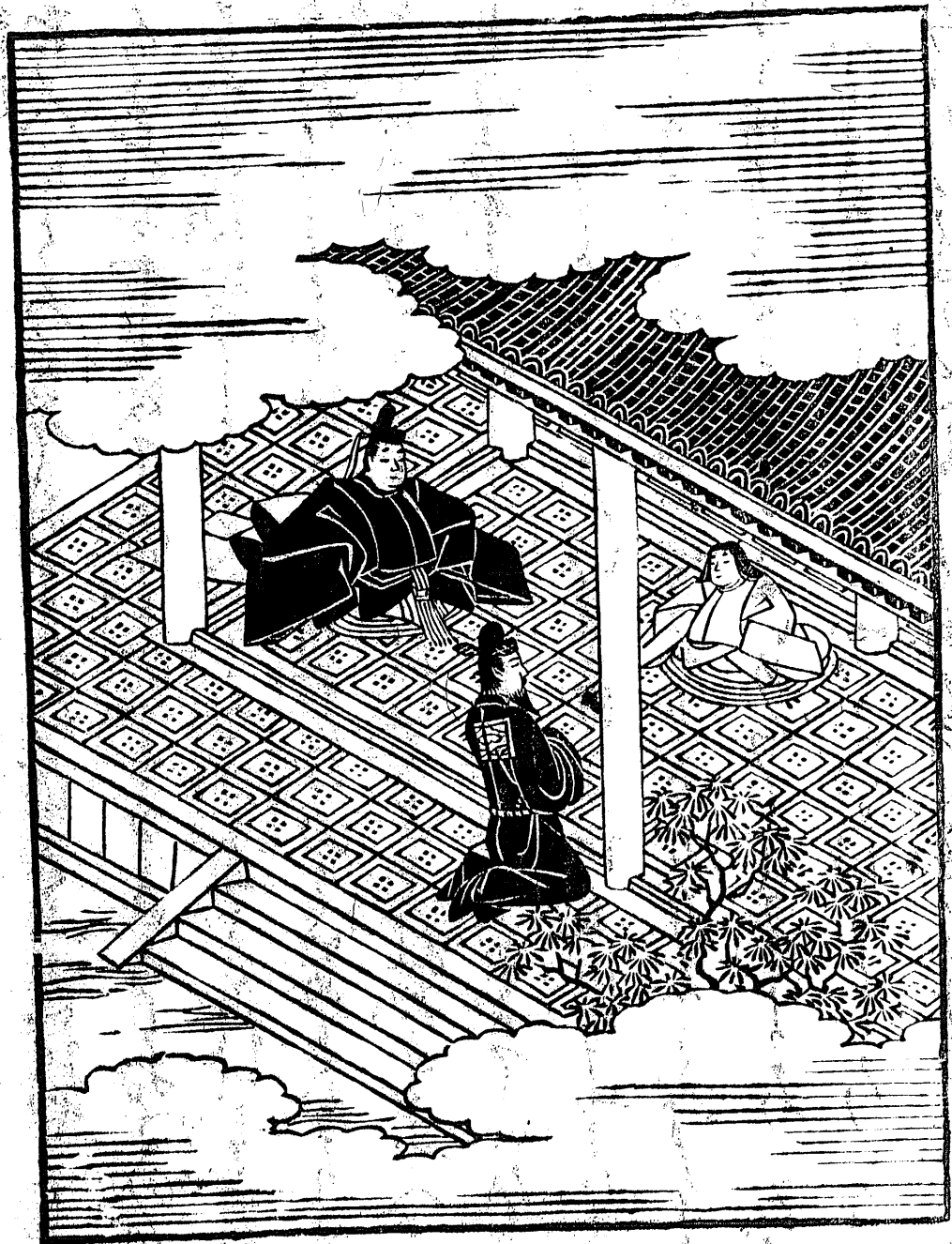
くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

あはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

わづあはくさるはあはくさるはあはくさるはあはくさる

くくさむくさむくくひひくまきまうなれはあはくさる

室龜八幸ニ海海使多
 使とせよ...
 の白王大臣も生奉り玉
 へり



室龜八幸ニ海海使多
 使とせよ...
 の白王大臣も生奉り玉
 へり

了りよつとをさへ入るるのひもをせむき家の内院
がんでん紫雲殿之皇太子ナルハ
順南殿より有りてござるもの御膳付御膳付

ひらふよとせむき家の御膳付御膳付
御膳付 御膳付
さくら院に御膳付御膳付

とらそらちかてを御膳付御膳付
別物ニテ臨時ノ御膳付
てなごらちかてを御膳付御膳付
親王以下清涼殿に涼敷之

御のひらぐのひらぐのひらぐのひらぐ
加賀ノ一系九大臣ノ
くまんとせむき家の御膳付御膳付
盛明親王天慶三百年十月御元服申時

ありさらの時を御膳付御膳付
花鳥事怪大なるをへん御膳付御膳付
るつとをさへ入るるのひもをせむき家の内院

しりたり大蔵の御膳付御膳付
花鳥事怪大なるをへん御膳付御膳付
りつとをさへ入るるのひもをせむき家の内院

なつとをさへ入るるのひもをせむき家の内院
花鳥事怪大なるをへん御膳付御膳付
りつとをさへ入るるのひもをせむき家の内院
御父子十カラ君臣ノ礼アリキ故ニ
りつとをさへ入るるのひもをせむき家の内院
赤色綱服ヲ脱キテ無位ノ黄袍ニ換シテ
りつとをさへ入るるのひもをせむき家の内院
花鳥事怪大なるをへん御膳付御膳付

婚カニ式シキ

ついでにさかへつゝおはなせぬが

あはれなくもすゝめされし御前モトノマヘの御ミ顔オモみ

もよほしき御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

る御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

る御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

る御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

る御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

る御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

る御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

る御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

と申すは中將ナカシラの御ミ顔オモみシ

の御ミ顔オモみの御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

の御ミ顔オモみの御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

の御ミ顔オモみの御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

の御ミ顔オモみの御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

の御ミ顔オモみの御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

の御ミ顔オモみの御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

の御ミ顔オモみの御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

の御ミ顔オモみの御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

の御ミ顔オモみの御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

の御ミ顔オモみの御ミ顔オモみは御ミ顔オモみに似にた

